

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和8年2月27日

事業所名: ひよこ学級

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3	0	0	・限られたスペースではありますが、活動場所が確保できるよう構造化しました。また、ひよこ園事業と調整して別室を使用するように努めました。	35	0	1	0	・外遊びのスペースが小さい。 ・パーティションで仕切りながらも、十分にスペースが確保されています。	・子どもさんがのびのびと過ごせるような関わりに配慮していきます。
	2 職員の適切な配置	3	0	0	・適切に職員の配置をしています。	33	2	0	1	・職員の数が足りているのかは分からないが、グループのとき少し忙しそう。	・さらに打ち合わせを密にし、グループ療育がスムーズに行えるようにしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	3	0	0	・構造化を行い、子どもさんにわかりやすい環境を提供できるよう努めました。ヒヤリハットで出たケースをもとに検討し、パーティションにはつまずき防止のカバーや印をつけました。	34	0	0	2	・パーティションの他に、番号がついたBOXの使用、時系列での絵カードの説明表があり、何をするか、全体像を把握しやすくなっている。 ・絵や文字で表示しており見やすい。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	3	0	0	・日々の清掃や消毒を行い、清潔を保つよう心掛けました。	33	2	1	0	・もう少しあたたかみのある環境が良い。 (木がほとんど使われていない)	・心地よく過ごせるような環境づくりに努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	3	0	0	・事業計画作成に職員全員が携わっています。業務改善をすすめるための目標と振り返りの意識を高められるように努めました。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	0	3							
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	3	0	0	・今年度は園内研修や外部研修に積極的に参加しました。また、職員全員が公開療育のある外部研修に参加し、支援の質を高められるよう努めました。						
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	3	0	0	・ホームページに支援プログラムを公表しています。						
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	3	0	0	・家庭の様子や幼稚園、保育所、こども園の様子を確認すると共にフォーマル・インフォーマルな評価を行った上で保護者の方のニーズを確認しながら支援計画を作成するように努めました。	35	0	0	1	・前もって記入できるように、あらかじめ用紙をくばって下さいます。親に確認して下さいながら、説明して下さいます。 ・専門家の目線で、こちらの気づいていないことも教えてもらえて助かっている。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	3	0	0	・子どもさんの特性に配慮した支援内容を検討し作成するように努めました。	35	0	0	1		
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	3	0	0	・子どもさんの状況に合わせて個別療育とグループ療育を組み合わせた児童発達支援計画を立てられるよう、努めました。						
	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	3	0	0	・児童発達支援管理責任者と各担当が定期的に確認し合い、児童発達支援計画に沿ったものになるよう努めました。	34	1	0	0	無記入1名	
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	3	0	0	・グループ療育についてはチームで活動プログラムの立案・振り返りを行っています。個別療育については、各担当が主に活動プログラムの立案をしました。						
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	3	0	0	・活動内容は支援計画に沿ったものになるよう、工夫をしました。	33	2	0	1		・子どもさんが興味をもって取り組める内容を増やし、個別的な支援ができるように取り組んでいきます。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援				・非該当						
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	3	0	0	・グループ療育は立案に関する打ち合わせを職員全員で行い、役割分担の確認を行いました。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	3	0	0	・グループ療育終了後に、その日の振り返りを行い、対応の確認や次回の配慮点について、職員全員で話し合い、情報を共有しました。						
	11 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3	0	0	・その日の様子を記録に残し、次回の療育に活用しました。						
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3	0	0	・児童発達支援計画は、作成して6か月後に、子どもさんの状況に合わせて見直しをしました。						
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	3	0	0	・児童発達支援管理責任者と担当職員が参加できる体制を整えています。						
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				・非該当						
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				・非該当						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	3	0	0	・就学時の引継ぎ資料として保護者の方がサポートブックを作れるように、アドバイスを行なっています。また、担当職員がそれぞれの子どもさんの様子が分かる資料を作成し、それを保護者の方にお渡しする予定です。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	3	0	0	・ひよこ園事業への移行については、両事業所の職員がケース会議を行い、引継ぎを行う予定です。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	3	0	0	・ひよこ園事業と合同で研修を行いました。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供				・非該当						
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営				・非該当						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	3	0	0	・契約時に書面を確認しながら説明しました。	36	0	0	0	・利用時にお話があります。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	3	0	0	・児童発達支援計画を開示して説明を行い、その写しをお渡ししました。	36	0	0	0		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	0	0	・グループ療育の座談会では子どもさんの気持ちを聞き出した状況や伝えたりすることを目的に、絵で描いて示す練習を行いました。また、職員が子どもさんと関わっている様子を見ていただき、保護者の方にも同じように関わってもらう機会を設けました。	31	2	0	3	・定期的な勉強会があります。	・親子通園のため、毎回支援を見て頂いて、特性の理解をはじめ、療育の目的、内容、家庭での関わり方について、今後さらに情報提供、助言をしていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	3	0	0	・定期的に避難訓練(火災、震災、高潮、暴風など)を実施し、実施後は、コドモン(ICT)で内容をお知らせしていますので、ご覧ください。 ・災害時、避難するためシューズの着用をお願いしています。忘れた子どもさんのために、貸し出せるように用意しました。	35	1	0	0	・おもちゃの時間にいつも話せる機会をつくっていただいています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
保護者への説明責任・連携支援（続き）	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3	0	0	•家庭や幼稚園、保育園、こども園で困っていることについても話してもらい、支援の方法を提案するように努めました。	32	3	0	1	•毎回の療育時に子どもがおもちゃであそぶ時間を利用したり、支援計画の見直しを定期的にして下さったり、コドモンでも、と常にタイムリーに対応して下さっています。	•親子通園ですので、いつでも保護者の方が悩みを相談できる雰囲気づくりに努めます。心配なことがありましたらご相談ください。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	3	0	0	•今年度はOBを招いての座談会を企画し、就学前後のお話をたくさん聞かせていただきました。	29	4	1	2	•定期的に機会を作って下さっていることで、学年の違った子どもさんの親御さんとお話できる機会、個人情報保護のため、存在すら知るよしもなかった親御さんとお話できる機会を作っていたいただき、親にとっても、心の支えです。	•父母の会はありませんが、年2回座談会を行い、保護者の方同士が交流ができる機会を予定しております。ぜひ、ご参加ください。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	3	0	0	•苦情があった場合に迅速かつ適切な対応が出来るよう苦情担当者及び苦情解決責任者窓口をコドモンの資料室に掲示しました。	32	1	0	3	•常に対応(受け付ける)して下さっており毎月、苦情の有無についてコドモンから配信があります。	•契約時に苦情受付について詳しく説明をするとともに、コドモンで継続してお知らせしていきます。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3	0	0	•障害特性をふまえた関わり方に配慮しました。保護者の方に対してはコドモンを活用することでいつでも連絡を取りやすい環境を作っています。	35	0	0	0	•伝わりやすい様に、絵を描く、写真や文字を使用した教材を前もっていつも作って下さっている。動画の方がわかりやすい次男には、動画も準備して下さっている。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信				•非該当						
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	3	0	0	•個人情報の取扱いに関する同意書を頂き、それをもとに対応をしました。	34	0	0	2	•親同士、存在を知るよしかなかった。本当にきちんと保護(個人情報)されています。		
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	3	0	0	•コドモンの資料室に掲示しています。そのことを契約時に説明しています。又、クラスにも避難経路の掲示と防犯グッズの準備を行っています。	31	3	0	2	•防災訓練に参加したことがあります。 •コドモンで配信されたり、施設の説明時に資料にもまとめて下さっています。	•コドモンの資料室にマニュアルが掲示されていますので、ご覧ください。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	3	0	0	•災害時、非難するためシューズの着用をお願いしています。忘れた子どもさんのために、貸し出せるように用意しました。 •療育利用日と避難訓練の日時が重なった子どもさんには、参加をしていただいています。	31	0	0	5	•災害に備えても上履きが必要なことも先生からお話をもらい、子どもも理解しやすい環境となっています。	•定期的に避難訓練(火災、震災、高潮、暴風など)を実施し、実施後は、コドモンで内容をお知らせしていますので、ご覧ください。
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	3	0	0	•利用開始時に、熱性けいれんとてんかんの有無について、保護者の方から聞き取りをしました。						
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	0	0	3	•親子通園ですのでその都度保護者の方にアレルギーの確認を行い、アレルギーがある場合は該当しないおやつを提供するように配慮しました。						
	5 安全管理の徹底	3	0	0	•安全管理に必要な研修や訓練を行ったり、建物内外に危険箇所はないか定期的にチェックをしたりしています。						
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	3	0	0	•安全計画をコドモンの資料室に掲示しています。	34	1	0	1		
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	3	0	0	•月に一度ヒヤリハット活動を職員会で実施しています。ルールの確認や新しいルールの設定を行い、子どもさんの安全が守られるよう努めました。						
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	3	0	0	•虐待防止委員会を行い研修の内容を決めています。研修会を通して、適切な関わりが行えるよう努めました。						
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	3	0	0	•虐待防止委員会で確認を行い、身体拘束は行わないように徹底しました。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
満足度	1	子どもは安心感をもって通所しているか					36	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> •いつも通所を楽しみにしています。ありがとうございます。 •楽しみに、通所日でない日も行きたがります。 •リラックスしている。 	
	2	子どもは通所を楽しみにしているか					33	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> •子どもも先生方をよく信頼していると思います。通所することで幼稚園にいけないジレンマがあり、そういう意味で「楽しみ」が問われると、難しいです。 •大変喜んでいきます。 •いつも先生の名前をよんでいます。通所日でない日も行きたがります。 •熱などで通所できないときに泣くほど楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> •今後、子どもさんが楽しめる内容を工夫していきます。
	3	事業所の支援に満足しているか					34	2	0	0		<ul style="list-style-type: none"> •今後も皆さんに満足していただけるように、努力していきます。